

第5章 食肉の料理

家庭における夕食について、食肉の料理はどの程度出現し、さらにそれらの調理形態はどのようになっているだろうか。また、外食における食肉料理はどうであろうか。この章では、これらについて調査した。

1 夕食メニューにおける肉と魚の出現頻度

6月の1週間における調査世帯の夕食の延べ食数(2,065世帯×7日=14,455食)に対する家庭と外食における肉料理と魚料理の出現頻度についてみると、家庭では「肉料理」が55.6%、「魚料理」が35.3%、「肉・魚以外の料理」が14.2%となっている。1週間の夕食のうち「肉料理」はおよそ4日、「魚料理」はおよそ2日出現したことになる。(表5-1)

また、1週間のうち外食をした世帯については、「肉料理」が4.0%、「魚料理」が2.6%、「肉・魚以外の料理」が2.2%となっており、それぞれかなり低い割合にとどまっている。

表5-1 夕食メニューにおける魚と肉の出現頻度

	家庭			外食		
	肉料理 %	魚料理 %	肉・魚以外の料理 %	肉料理 %	魚料理 %	肉・魚以外の料理 %
平成12年 6月	58.6	33.9	6.2	2.4	1.9	0.8
12月	57.4	32.4	7.2	2.5	1.7	0.9
平成13年 6月	57.8	32.6	6.8	2.6	1.9	0.9
12月	57.5	33.8	6.7	2.1	2.4	0.9
平成14年 6月	55.6	35.3	14.2	4.0	2.6	2.2

(注) 1日の食事につき複数回答を含む。

2 夕食で作った肉料理の形態

(1)小括

夕食で使用した食肉の種類で使用頻度をみると、豚肉が最も多く、次いで鶏肉、牛肉、挽肉、その他の順となっている。(後掲表5 - 3、表5 - 4、表5 - 5、表5 - 6、表5 - 7)

また、夕食で使用した食肉全体について調理形態をみると、「焼き物」が26.7%で最も多く、次いで「煮物」が22.2%、「炒め物」が21.3%、「揚げ物」が16.8%となっている。(表5 - 2)

世帯構成別でみると、「煮物」は高齢者のみの世帯で比較的多くなっている。

表5 - 2 肉の種類別調理形態(全体)

		合計 食	全体 %	焼き物 %	煮物 %	揚げ物 %	炒め物 %	その他 %
平成14年6月		7,476	100.0	26.7	22.2	16.8	21.3	12.9
世帯 構成	子供が小学生以下の世帯	1,716	100.0	28.0	22.1	16.0	20.7	13.3
	成長期の子供がいる世帯	2,147	100.0	25.2	20.4	18.7	21.9	13.8
	20歳代がいる世帯	1,697	100.0	26.0	21.6	16.8	22.1	13.5
	子供がいない世帯	1,245	100.0	27.1	24.2	16.5	20.3	11.9
	高齢者のみの世帯	671	100.0	29.4	26.5	13.9	20.7	9.5
検定結果：**								
職業	持っている	3,123	100.0	26.3	21.1	17.8	21.2	13.6
	持っていない	4,271	100.0	27.3	23.0	16.1	21.0	12.6

検定結果：**

(2)牛肉

牛肉について調理形態をみると、「焼き物」が38.5%、「煮物」が34.4%となっている。これに次いで「炒め物」が14.9%、「その他」が9.8%、「揚げ物」が2.4%となっている。(表5-3)

世帯構成別でみると、高齢の世帯層ほど「焼き物」の形態が多くなり、逆に若い世帯層で「煮物」の形態が多くなっている。

地域別でみると、東日本で「焼き物」が比較的多くなっている。

表5-3 肉の種類別調理形態(牛肉)

		合計	全体	焼き物	煮物	揚げ物	炒め物	その他
		食	%	%	%	%	%	%
平成14年6月		1,656	100.0	38.5	34.4	2.4	14.9	9.8
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	325	100.0	35.1	40.3	2.2	13.8	8.6
	成長期の子供がいる世帯	482	100.0	36.7	32.0	2.1	17.4	11.8
	20歳代がいる世帯	344	100.0	37.2	31.7	2.9	16.9	11.3
	子供がいない世帯	315	100.0	41.3	36.5	1.9	11.4	8.9
	高齢者のみの世帯	190	100.0	46.8	31.6	3.2	12.6	5.8
検定結果：-								
職業	持っている	706	100.0	36.3	33.1	3.4	16.0	11.2
	持っていない	931	100.0	40.3	35.3	1.5	14.0	8.9

検定結果：*

(3)豚肉

豚肉について調理形態をみると、「炒め物」が32.8%と最も多く、次いで「煮物」が19.9%、「焼き物」が19.6%と同程度で続いている。さらに、「揚げ物」が14.6%、「その他」が13.1%となっている。(表5-4)

世帯構成別でみると、高齢層で「煮物」が多くなっている。

表5-4 肉の種類別調理形態(豚肉)

		合計	全体	焼き物	煮物	揚げ物	炒め物	その他
		食	%	%	%	%	%	%
平成14年6月		2,746	100.0	19.6	19.9	14.6	32.8	13.1
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	618	100.0	23.1	18.6	11.5	32.4	14.4
	成長期の子供がいる世帯	780	100.0	16.7	19.7	17.1	31.8	14.7
	20歳代がいる世帯	637	100.0	18.5	19.2	13.3	35.5	13.5
	子供がいない世帯	442	100.0	19.7	19.2	16.7	33.5	10.9
	高齢者のみの世帯	269	100.0	21.9	26.4	13.8	29.4	8.6
検定結果：**								
職業	持っている	1,125	100.0	20.0	18.7	14.8	32.5	14.0
	持っていない	1,590	100.0	19.3	20.8	14.3	33.0	12.5

検定結果：-

(4) 挽肉

挽肉について調理形態をみると、「焼き物」が44.2%と圧倒的に多く、次いで「炒め物」が18.9%、「揚げ物」が13.5%、「その他」が13.2%、「煮物」が10.3%となっている。(表5-5)

世帯構成別でみると、若い世帯層ほど「焼き物」が多い。

表5-5 肉の種類別調理形態(挽肉)

		合計	全体	焼き物	煮物	揚げ物	炒め物	その他
		食	%	%	%	%	%	%
平成14年6月		1,011	100.0	44.2	10.3	13.5	18.9	13.2
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	277	100.0	49.5	8.7	11.2	18.8	11.9
	成長期の子供がいる世帯	319	100.0	42.9	9.7	15.0	21.3	11.0
	20歳代がいる世帯	232	100.0	44.8	12.9	13.4	12.9	15.9
	子供がいない世帯	132	100.0	37.9	12.9	13.6	20.5	15.2
	高齢者のみの世帯	51	100.0	37.3	3.9	15.7	27.5	15.7
検定結果：-								
職業	持っている	413	100.0	43.6	9.9	13.8	21.5	11.1
	持っていない	587	100.0	45.1	10.2	13.1	16.7	14.8
検定結果：-								

(5) 鶏肉

鶏肉の調理形態についてみると、「揚げ物」が37.7%と最も多く、次いで「煮物」が22.8%、「焼き物」が18.4%、「その他」が11.5%、「炒め物」が9.6%となっている。(表5-6)

世帯構成別でみると、高齢層では「揚げ物」が少なく、成長期の子供がいる世帯で多くなっている。

表5-6 肉の種類別調理形態(鶏肉)

		合計	全体	焼き物	煮物	揚げ物	炒め物	その他
		食	%	%	%	%	%	%
平成14年6月		1,771	100.0	18.4	22.8	37.7	9.6	11.5
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	416	100.0	17.1	23.6	38.7	8.7	12.0
	成長期の子供がいる世帯	499	100.0	17.8	17.6	41.3	10.2	13.0
	20歳代がいる世帯	404	100.0	18.8	23.8	38.1	9.2	10.1
	子供がいない世帯	309	100.0	20.1	25.2	34.0	10.4	10.4
	高齢者のみの世帯	143	100.0	19.6	30.1	29.4	9.8	11.2
検定結果：-								
職業	持っている	742	100.0	17.4	20.8	39.9	10.1	11.9
	持っていない	1,011	100.0	19.2	24.4	35.7	9.4	11.3
検定結果：-								

(6)その他

その他の肉について調理形態をみると、「その他」が36.0%と最も多く、次いで「炒め物」が28.8%、「焼き物」が16.8%、「煮物」が13.0%、「揚げ物」が5.5%となっている。(表5-7)

職業の有無別でみると、無職の家事担当者世帯で「炒め物」が多くなっている。

表5-7 肉の種類別調理形態(その他)

		合計 食	全体 %	焼き物 %	煮物 %	揚げ物 %	炒め物 %	その他 %
平成14年6月		292	100.0	16.8	13.0	5.5	28.8	36.0
世帯 構成	子供が小学生以下の世帯	80	100.0	18.8	13.8	5.0	27.5	35.0
	成長期の子供がいる世帯	67	100.0	10.4	14.9	7.5	29.9	37.3
	20歳代がいる世帯	80	100.0	20.0	11.3	6.3	30.0	32.5
	子供がいない世帯	47	100.0	19.1	12.8	4.3	21.3	42.6
	高齢者のみの世帯	18	100.0	11.1	11.1	-	44.4	33.3
検定結果：-								
職業	持っている	137	100.0	19.0	15.3	5.8	22.6	37.2
	持っていない	152	100.0	15.1	11.2	5.3	32.9	35.5

検定結果：-

3 外食の状況

外食の総夕食数に対する割合はわずかに 4.0%であり、家庭内での料理と比較するとかなり少ない。(前掲表5 - 1)

これら肉料理の内訳をみると、「牛肉」が最も多く 38.3%、「鶏肉」が 22.7%、「豚肉」が 18.9%、「その他」が 10.8%、「挽肉」が 9.3%となっている。

先に見たとおり、家庭内では「豚肉」が最も多く、次いで「鶏肉」、「牛肉」、「挽肉」、「その他」の順番であったことから「牛肉」や「挽肉」に入れ替わりがみられる。

(表5 - 8)

世帯構成別でみると、成長期の子供がいる世帯で「牛肉」が比較的多くなっている。

表5 - 8 外食の肉の種類

		総夕食数 食	肉料理内訳				
			牛肉 %	豚肉 %	挽肉 %	鶏肉 %	その他 %
食肉全体		582	38.3	18.9	9.3	22.7	10.8
所得階層	300万円未満	55	47.3	18.2	9.1	14.5	10.9
	300～499万円	182	31.3	20.3	14.3	25.8	8.2
	500～699万円	139	35.3	20.1	4.3	25.2	15.1
	700～999万円	130	43.8	16.9	9.2	20.8	9.2
	1000万円以上	61	42.6	16.4	8.2	21.3	11.5
	不明	15	53.3	20.0	-	13.3	13.3
検定結果：-							
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	132	37.9	17.4	12.1	24.2	8.3
	成長期の子供がいる世帯	104	47.1	15.4	5.8	24.0	7.7
	20歳代の成人がいる世帯	172	38.4	19.8	8.7	18.6	14.5
	子供がいない世帯	101	32.7	20.8	9.9	24.8	11.9
	高齢者のみの世帯	73	34.2	21.9	9.6	24.7	9.6
検定結果：-							
職業	職業を持っている	270	39.3	18.5	10.0	21.9	10.4
	職業を持っていない	305	37.7	19.3	8.5	23.6	10.8
	不明	7	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6

検定結果：-